

---

## 第3章 望ましい環境のすがたと 計画の目標

第3章では、本市が目指す望ましい環境のすがたと5つの目標を示します。

## 第1節 望ましい環境のすがた

本計画が目指す北上市の望ましい環境のすがたを、次のとおり定めます。

地域で支え合い 人と自然が調和する 環境共生都市 きたかみ

北上市の清らかな水やあふれる緑は、将来の世代からの借り物です。私たちは、この豊かな自然の恵みと人を含む生き物たちの繋がりが破綻することなく保たれてこそ、自然から大きな恵みを受けることができます。

この水清く緑あふれる環境を守り育て、豊かな自然と産業が調和した魅力あふれる北上市を、将来の世代に引き継いでいく責務を私たちは有しています。

このことから「地域で支え合い 人と自然が調和する 環境共生都市 きたかみ」を望ましい環境のすがたとして掲げ、市民、事業者及び行政が共有することとします。

## 第2節 計画の目標

前節の「望ましい環境のすがた」を実現するため、本計画では次の5つの基本目標を掲げ、その達成を目指します。



## 基本目標 1

### 地球環境に配慮した暮らしをするまち

地球温暖化問題が深刻化し、気候変動の影響が北上市にも及んでいます。私たちは異常気象など、地球規模の様々な環境問題に直面しており、私たち一人ひとりの社会経済活動や生活様式もその一因となっています。

本市でも、これらの問題に対する意識が高まっており、公共施設への太陽光発電システムやLED照明の導入等、環境へ配慮したエネルギー使用を推進しています。

地球の一員である市民一人ひとりが、日常の暮らしと地球環境との関わりを理解し「地球環境に配慮した暮らしをするまち」づくりを進めていきます。

#### 関連する SDGs



## 基本目標 2

### 限りある資源を有効に利用するまち

物質的な豊かさや利便性、快適性を追求した大量生産、大量消費及び大量廃棄型の社会構造は、身近なごみの問題にとどまらず、天然資源の枯渇や地球規模の環境にまで影響を及ぼします。

本市ではこれまで、家庭ごみ処理の手数料化、30・10運動の推進など、廃棄物対策を積極的に進めてきました。

今後さらに、ごみの減量や資源の有効利用を促進し「限りある資源を有効に利用するまち」づくりを進めていきます。

#### 関連する SDGs



### 基本目標 3

## 恵み豊かな自然とともに生きるまち

私たちの生活は、自然の恵みによって支えられており、自然は人が生きるために必要な空気、水、食糧といった物質的な恵みのほか、精神的なやすらぎを与えてくれます。

本市は豊かな自然に恵まれており、それらを守るため、生物多様性を保全する取り組みや、外来生物対策、自然とのふれあいの場の創出に努めなければなりません。

豊かな自然環境を守り育て、自然との共生を肌で感じ、その恵みを将来にわたり享受できるように「恵み豊かな自然と共に生きるまち」づくりを進めていきます。

### 関連する SDGs



### 基本目標 4

## 健康で安全・快適に暮らせるまち

私たちが健康で文化的な暮らしを営むためには、大気や水、土壌といった身近な環境が良好であるとともに、都市アメニティの充実が求められます。

本市は、産業や人口の集積、交通網の発達などにより、大気汚染や水質汚濁、騒音の発生など、環境に影響を与える要素が多く存在しています。

これらに起因した環境問題の発生を未然に防ぎ、市民の良好な生活環境を確保するとともに、うるおいある都市環境を創造し「健康で安全・快適に暮らせるまち」づくりを進めていきます。

### 関連する SDGs



## すべての人が連携して環境づくりに取り組むまち

今日の複雑多様化した環境問題を解決するためには、地域社会に暮らすすべての人が連携し、それぞれの役割を果たしていく必要があります。

市内では、地域や各種団体による環境保全活動や、事業者による環境保全を目的とした地域貢献活動も活発に行われています。

市はこうした活動を支援するとともに、各主体間の情報交換や交流、施策形成への参画促進を図り「すべての人が連携して環境づくりに取り組むまち」づくりを進めていきます。

### 関連する SDGs



